

## 素案のポイント

- 事業方針の大項目、中項目に基づき研究課題（研究テーマ）を設定し、担当機関が主体となり、各機関と連携協力を図りながら調査研究を推進する。
- 第2期調査研究計画は運営戦略会議において決定するが、今後の社会情勢等の変化に伴い研究課題は随時見直しを行う（研究課題の変更は連絡調整会議で変更できるものとする）。
- 研究課題（研究テーマ）ごとに、以下の内容を記載
  - ・ 研究課題 [機関名]
  - ・ 研究の概要（背景、研究内容、期待される成果）
  - ・ 実施内容

## 調査研究計画の構成

### I 「放射線計測・廃棄物」

大項目：安全・安心の確保に向けた放射線計測技術・廃棄物対策の研究

中項目1 避難指示区域解除・廃炉作業の促進のための周辺環境影響等の把握

研究課題

- I-1-① 原子力発電所周辺等における空間線量率の予測に関する研究[県]
- I-1-② 環境放射能モニタリング結果の評価等に関する研究[県]
- I-1-③ 避難指示区域解除に向けたモニタリングと被ばく評価[JAEA]
- I-1-④ 福島発の環境モニタリング技術の原子力防災への適用[JAEA]

中項目2 放射性物質を含む廃棄物等の適正な処理・処分

研究課題

- I-2-① 廃棄物最終処分場における放射性物質等の管理に関する研究[県]
- I-2-② 最終処分に向けた除去土壌等の減容化・処分技術システムの開発[NIES]
- I-2-③ 除染措置や廃棄物処理に伴う放射性セシウムのフロー評価 [NIES]

### II 「環境動態・生態系」

大項目：環境回復と自然共生に向けた放射性物質動態・生態系の研究

中項目1 放射性物質の環境中における挙動の把握・予測、リスクの総合的評価と情報発信

研究課題

- II-1-① 河川における放射性物質の動態予測に関する研究[県]
- II-1-② 摂取・出荷制限解除に向けた野生鳥獣の放射性物質の動態に関する研究[県]
- II-1-③ 放射性物質の移行メカニズムの解明及び環境回復手法の開発[F-REI]
- II-1-④ 生活圏での被ばく線量に係るリスクの総合的評価（環境放射能アセスメント）及び住民との対話の実施[F-REI]
- II-1-⑤ 原子力災害における放射性物質の移行等に係る被災対応等の研究及び国際機関とも連携した情報発信[F-REI]

中項目2 野生動植物や生態系における影響の把握

研究課題

- II-2-① 浜通り地域を中心とした外来種の影響等に関する研究[県]
- II-2-② 生態系の実態把握と回復研究[NIES]

### III 「環境創造」

大項目：持続可能な社会の実現に向けた環境創造の研究

中項目1 新たな環境の創造

研究課題

- III-1-① ごみ排出量削減に向けた検討[県]
- III-1-② 猪苗代湖の水質将来予測等に関する研究[県]
- III-1-③ 脱炭素社会・気候変動適応に向けた将来推計・要因分析等に関する研究[県]
- III-1-④ 地域資源を活用した持続可能な地域づくりに関する研究[NIES]
- III-1-⑤ 持続可能な地域創生のための社会システムデザインに関する実践的研究[NIES]
- III-1-⑥ 脱炭素・復興まちづくり計画の評価・解析手法の開発[NIES]

### IV 部門間連携